



四柱推命による能力別ビジネス診断

妻夫木聡 1980/12/13

天賦の職業

好奇心型

関心のある分野の学者や研究者が適職です。教師、本の著作、塾講師など人に教える仕事も最適です。漫才やタレントなど才能と人気を生かす職業にも多いタイプです。また意外にプロの人気スポーツ選手にもこのタイプは多いのです。逆に、組織管理や財務、または冷徹さが要求される競争社会でのビジネスは不得意です。特に毎日営業の実績を詰められるような営業職種は向きません。しかし営業であっても、半分趣味の世界でできるような、特殊な輸入車ディーラーの営業などが良いでしょう。誰も手がけていないニュービジネスでは意外と成功することもあります。その場合でも組織が大きくなってくると、組織の管理という面では自分の手には負えなくなりますので、後継者に任せることです。

上司・管理職としての適性

好奇心型

この人が上司になった場合、その分野のノウハウや知識などは大変分かりやすく部下に対して教えることができます。その才能はまるで学者のようで、若い社員からは大変慕われる上司になることでしょう。新しいアイデアや発案などもあって、楽しく部下は仕事ができます。しかし、毎月、半期ごとに実利を厳しく求められるような会社では、一生懸命やるのですがもともとそういった緻密な実利戦略が得意ではないので、大変苦労します。そういった場合は、実利を追いかけるのが得意な優秀な部下を育て、片腕として働いてもらうことです。この人は、部下が取ってきた商談の細かいケアや顧客のサポートなど、こまめに足を使って部下のサポートをすれば良いでしょう。

ふさわしいビジネスパートナー

好奇心型

この人は、もともと何にでも関心があるのですが、あまり凝ることはなく次々に興味の対象が変化する才能があります。つまり、最後まで責任をもって、調査研究をしたり、商品を開発したり、営業したりということはなく、どこかいつもビジネスとしては詰めが甘いのです。また、実利にならないものにも関心をもってしまつと、それが社会に貢献するものだと思ってしまう能力なのです。ですから、この人にふさわしい能力をもったビジネスパートナーは「納得・支配型」です。納得・支配型は何をやるにしても必ず損得・実利と十分に戦略を練り、単に趣味的なものには関心を持ちません。つまり、市場性と将来性があるから関心を持つという思考パターンが好奇心型には必要なのです。

アリとキリギリスで例えると



好奇心型

もともと何にでも関心があるのですが、あまり凝ることはなく次々に興味の対象が変化する才能があります。逆に言えば、コツコツと毎日同じことをやるといったことが不得意な傾向があります。ですから、その場限りの楽しみを選択したキリギリスに分類できます。しかし、決して悪い気持ちはなく、素直にアリに謝ることができます。いざという時にも、憎めないのも、アリ型人間に不思議と助けられることが多いものです。